

病害虫発生予察情報

12月月報

平成 19 年 1 月 11 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2006 年 12 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	12.4	-0.6	3.0	0.2	7.5	-0.3	8	63	47.5	90
中旬	12.6	1.1	4.6	3.3	8.6	2.4	11	73	36.1	61
下旬	12.3	1.4	3.1	2.8	7.7	2.4	180	2169	63.0	95
平均	12.4	0.6	3.6	2.2	7.9	1.5				
合計							199	554	146.6	83

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬はやや低かったが、中・下旬は高かった。

降 水 量：上・中旬はやや少なかったが下旬は極めて多かった。

日照時間：上・下旬は平年並み、中旬はやや少なかった。

<天候概況>

上旬：冬型の気圧配置の日が多く、6日頃まで晴れの日が多かった。その後は低気圧通過のため曇りや雨となった。平均気温と降水量は平年並み、日照時間は少なかった。

中旬：高気圧に覆われ晴れの日もあったが、曇りや雨の日も多かった。平均気温はかなり高く、日照時間はかなり少なく、降水量は多かった。

下旬：気温が高い日が多かったが、26日は12月としては記録的大雨となった。平均気温はかなり高く、日照時間は平年並み、降水量はかなり多かった。

2 作物生育概況

(1)野菜類

平年に比べ日照時間は若干少なかったものの、最高、最低、平均気温がやや高かった。

葉菜類 施設および露地のコマツナ、ホウレンソウの生育は順調で収穫が早まる傾向であった。

また、ブロッコリーについても同様で2週間ほど収穫が早まった。ハクサイやネギの生育も順調である。

果菜類 促成のトマトやイチゴは順調な生育を示している。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト(施設 抑制)

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ (施設)

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
モモアカアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ナミハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ナモグリバエ類 (施設)	< 少 >	発生は少なかった。
--------------	-------	-----------

(2) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
シクラメンホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

(3) 島しょの病害虫

大島: サヤエンドウでハモグリバエ類, アシタバでさび病, プーバルジアでコナジラミの発生が多かった。

新島: サヤエンドウでハモグリバエ類, トマトでタバココナジラミが多かった。

神津島: サヤエンドウとミニトマトでハモグリバエ類が多かった。

小笠原諸島: アブラナ科野菜でハスモンヨトウとハモグリバエ類が多かった。

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除方法
などをお知らせしています。